

兵庫県加西市

体験内容（受入レポートから）

エコ教室&薪作り体験
農家体験
北条鉄道「長駅」夕涼み会 運営補助
北条鉄道枕木交換・車両清掃
いこいの村はりま ホテルスタッフ体験
市内散策
宇仁郷まちづくり協議会 活動参加

報告者

市町村 : 高橋 知弘 (ふるさと営業課)
体験調査員 : 笠松由佳里 (同志社大学)
片平枝里 (中央大学)

平成 21 年度若者の地方体験交流支援事業

(地域づくりインターン事業) 受入レポート

兵庫県加西市	経営戦略室・地域振興部	ふるさと営業課
担 当	ふるさと営業課	高橋 知弘
受 入 期 間	8月19日～9月1日	
体 験 調 査 員	笠松由佳里(同志社大学3年)・片平枝里(中央大学3年)	

加西市の概要

加西市は、兵庫県のほぼ中央に位置し東西12.4 km、南北19.8 kmの広がりを持つ人口約5万人の小規模都市で、姫路市や加古川市に隣接しています。

市北部と南部は200～500mの山が連なり緑豊かな自然環境です。中部は北部山地を源とするいくつかの河川とその間に形成された台地が広がり、播磨内陸地域最大の平坦地を形成しています。またこの一帯にはため池が数多く点在し、県内でも有数の密集地帯となっています。

気候は瀬戸内式に属し、冬季の降水量が少なく年間平均気温が16前後と温暖で暮らしやすいところです。

産業は稲作を中心とした農業が盛んですが、ぶどう(地域ブランド「ゴールデンベリーA」)や大根、トマト、いちごなどの栽培も行われています。また、加西市は戦後三洋電機の創業地として発展した企業城下町でもあり、金属製品製造業を中心とした工業もさかんです。しかし近年、市街中心部にある三洋電機の北条工場が閉鎖し、その跡地に大型ショッピングセンターが建設され、市街地は大きな転換期を迎えています。また、今年度は三洋電機のリチウムイオン電池工場の加西進出が決まり、来年7月の稼働が予定されており、製造業においても新たな展開を迎えようとしています。



体験調査員受入の目的

都市の若者に加西市での生活を体験してもらい、都市部に住むものの意見や若者独自の感性を活かし意見や提案を地域住民に伝えることで、市民が地域を活性化するために何をすべきか考えるきっかけにしたいと考えています。それ加えて、引き続き都市と農村の交流を図っていく上で地域住民が都市住民を受け入れるための体制整備や意識の醸成に役立てたいと考えています。

また、体験調査員には事業終了後も加西市を宣伝する役割を担っていただき、また今後もこの事業を継続することで、市外との交流人口やUJインターン者の増加を図りたいと考えています。

体験スケジュール

月 日	場 所	内 容	宿 泊
8月19日	エコファクトリー	午後 エコ教室、オリエンテーション	市職員宅
20日	原始人会	午前 コミュニティーバス体験乗車 午後 農家体験（大豆畑の草刈）	原始人会 交流館
21日	原始人会	終日 農家体験（木工教室建設資材の選定） （甘酒仕込み）	原始人会 交流館
22日	原始人会 MORE 地球家族	午前 農家レストランスタッフ体験 午後 北条鉄道「長駅」夕涼み会準備	原始人会 交流館
23日	原始人会	終日 農家レストラン「土17日（どいなか）屋 台」スタッフ体験	原始人会 交流館
24日	MORE 地球家族	午前 北条鉄道「長駅」夕涼み会準備、酒蔵見学 午後 市長面談／休養	いこいの村 はりま
25日	北条鉄道 北条旧宿場町	午前 北条鉄道枕木交換、車両清掃 午後 「北条の宿はくらんかい」準備	いこいの村 はりま
26日 27日	いこいの村 はりま	終日 ホテルスタッフ体験 （風呂掃除、配膳、フロント業務など）	いこいの村 はりま
28日	善防園 MORE 地球家族	午前 薪作り体験 午後 長駅夕涼み会	いこいの村 はりま
29日	市内	終日 市内観光施設案内（ボランティアガイド）	八王子神社 山本宮司宅
30日	宇仁郷まちづ くり協議会	午前 朝市手伝い、協議会の取り組み説明 午後 休養	八王子神社 山本宮司宅
31日	市役所	終日 休養日（レポート作成）	オクタウン加西
9月1日	市役所	午前 報告会	オクタウン加西

主な活動紹介

エコ教室＆薪作り体験

加西市では、近畿圏内の自治体に先駆けて平成17年よりバイオマスタウン構想を発表し、廃食用油の回収やBDFの精製、バイオマス飼料（エコフィード）、木質バイオマスの活用、バイオガスなど様々な環境活動に取り組んでいます。

今回は、啓蒙活動の一環として開催するエコ教室に調査員も参加してもらい、加西市の環境活動を理解してもらいました。また、木質バイオマスの活用として、里山整備によって出た木材の出荷を手伝ってもらいました。



【エコ教室の様子】



【薪作り体験】

28日から昨年度のインターン調査員の三浦君が合流しました。

原始人会での農家体験

都市農村交流を中心に活動するまちおこし団体「原始人会」にて農家体験をしていただきました。来年度より都市住民を対象に豆腐作り、味噌作り体験の実施を計画しており、その準備段階として大豆の栽培をしています。農薬を極力使わないため雑草が多く、その草刈を手伝ってもらいました。その他、新たな畑の整備や里山に入って木工教室の建築資材の選定、特産のどぶろく・甘酒作り、農家レストランのスタッフ体験などまちおこし活動のお手伝いをしてもらいました。



北条鉄道「長駅」夕涼み会

北条鉄道の各駅にはステーションマスターと呼ばれるボランティア駅長が約30名おり、それぞれの駅長が各駅を利用し様々な催しを実施しています。今回は、「長駅」の駅長による夕涼み会の準備をお手伝いしていただきました。調査員には駅舎の清掃準備をはじめイベントの告知など、当日は紙芝居や歌の披露などもしていただきました。



北条鉄道枕木交換・車両清掃

田舎でも都市部でもなかなか体験することができない今回の目玉体験でした。バラスをスコップで除去し、何十キロもある枕木を入れ替える作業は予想以上に体力を要する作業でしたが、鉄道職員から説明と指導を受け、この作業が安全運行のためにいかに大切な作業か理解できたようです。



いこいの村はりま ホテルスタッフ体験

風呂掃除、配膳、フロント受付業務などを体験してもらいました。都市部でクオリティーの高いサービスを受けているだけあって、厳しい意見もたくさんいただきました。ホテルスタッフにも良い刺激になったのではないかと思います。

市内散策

加西市観光ボランティアガイド、小学生ボランティアガイド及び市職員の案内で市内の観光施設（北条の宿かいわい、五百羅漢、法華山一乗寺、ぶどう園、奥山寺、フラワーセンターなど）を散策し、現状を把握してもらいました。



【五百羅漢】

【法華山一乗寺】

【ぶどう狩り】

【鶉野飛行場】

【フラワーセンター】

宇仁郷まちづくり協議会

都市農村交流、UIJターンの促進を中心に活動をしているまちづくり団体での活動に参加してもらいました。芦屋市の協議会と共同でぶどう狩りツアーを実施予定でしたが、選挙等の関係で予定がずれてしまい朝市のお手伝いのみとなりました。

宇仁郷の代表者からまちづくりの取り組みを話していただく時間が取れ、活動内容、趣旨目的などを理解してもらいました。



【朝市の様子】

昨年との比較

昨年度は、非常に体力を要する作業が多く、加西市の観光地に関する基本的な知識を得る機会が少なく、レポート作成の時間も十分取れなかったことを反省し、今年度はスケジュールに幅を持たせ、加西市全体を見学する機会を設け、体験の合間で体験調査員に考える余裕を作りました。

また、まちづくり活動に重点をおいて体験してもらい、団体の代表や主要な方と話す機会を持つことで、まちづくりの現状や課題についてより深く理解してもらえたかと思えます。

苦労した点

選挙や新型インフルエンザの関係で予定していたぶどう狩りイベントが1週間延期になり、調査員の2人は楽しみにしていたのですが、代替のスケジュールとなってしまいました。スケジュール調整の結果、丸1日の休養日が取れず調査員に大変な思いをさせてしまいました。

宿泊に関しては、調査員が女性ということもあり、受け入れ場所探しに苦労しました。市の担当にも女性を配置し、ケアするとともに、受け入れ側にもお客様扱いにならないよう留意しました。

成果と課題

まちづくり活動を中心に体験していただく予定でしたが、加西全体のことをよく理解してもらいたいという思いから様々なところに出向くことになりました。体験期間中は、多くの人に出会い、多くのことを聞き、整理しきれないくらいの情報量だったかもしれません。また、体力的にも非常に厳しかったかもしれませんが、報告会においても調査員の2人は、課題をよく整理し、それぞれの団体が取り組む事業において貴重な意見をいただきました。

片平さんからは、日常的に交流できる拠点の整備、イベントを通じてのまちづくり意識の醸成、学校教育を活用しての地域力の向上、人の繋がりを作ることの必要性など、笠松さんからは、地域住民のおもてなし力の向上、点で存在する観光地を線で結ぶ「ついでに観光」の推進など非常に的を射た意見や提言をいただきました。それぞれの団体からまちづくりへの思いや現状、これからの課題などを抽出することができたのではないかと思います。報告会に参加した受け入れ団体や市の職員からも市が抱える課題を改めて認識することができたと高い評価をいただきました。

学生からの率直な感想、意見、提言であったこともあり、協力を頂いた各団体も今回の提言を受け、改善事項や新規事業への展開を考える良い機会作りとなり意識改革になったと思います。今後とも地域住民とともに加西市のまちづくり活動に活かしていけるよう努力してまいります。

平成 21 年度国土交通省地域づくりインターン報告書

派遣地域：兵庫県加西市

派遣期間：8月19日～9月2日

体験調査員：笠松由佳里

(同志社大学 法学部政治学科 三回生)



加 西 市 概 要

兵庫県南部、播州平野の中央に加西市は位置する。市域面積は 150.44 km² であり、その多くは田畑、住宅、山林そして原野と続く。平成 20 年度のデータによると、加西市の人口は、49,549 人である。

中国自動車道が市の東西を横断し、大阪や神戸から車で約 1 時間、また京都からは約 1 時間 30 分でアクセスすることが出来る。また、神姫バスが市内と周辺市町を結び、北条鉄道は JR と接続しており、市民の足となっている。

自然環境は、「暮らしやすい。」と市民が自慢するほど良い。冬は降水量が少なく、平均気温も 16 前後と温暖である。また、山林が広がり緑豊かである。

右図の市章のマークは北条町で多く見られる。これは、加西の「力」を二つ組み合わせて円形に図案化し、「西」をかたどった市章で「和と団結」および明るく豊かに躍進する「平和都市」加西を象徴している。加西市のキャラクターマークは根日女であり、播磨国風土記による根日女の恋伝統をモチーフに、「花のまち、夢のまち、はずむ未来」を表現している。根日女ちゃん人形、温泉施設「根日女の湯」、玉丘古墳、そして根日女のワインなど、様々なところで根日女は活躍し、市民に愛されている。市花はサルビアというシソ科の真赤な花が印象的な一年草で葉の緑が調和された草花であり、花と緑にまつまれた田園文化都市加西を象徴している。フラワーセンターでたくさんのサルビアを見ることが出来る。



加西市が誇る国指定文化財は、法華山一乗寺、酒見寺多宝塔、玉丘古墳群、東光寺の田遊び(鬼会)である。また、市の祭りや伝統行事としては、加西サイサイまつり、北条節句祭り、日吉神社大祭、獅子舞、五百羅漢千灯会が挙げられる。

参 加 動 機

大学で地域の方々を招いて行うイベントを主催し、その際に多くの方が協力してくれたことや、参加者がイベントを楽しんでいたことにとってもやりがいを感じ、この経験を通して地域の人々と交流し地域全体を盛り上げていく地域づくりに大変興味を持つようになりました。そこでこの夏休みを利用し地域づくりインターンに参加しようと考えました。

加西市を選んだ理由は、「原始人会」という団体の名前のインパクトが大きかったこと、また担当の方と電話でお話させて頂いた時にとっても熱い思いが伝わってきたことが挙げられます。そして私は京都に住んでいるということもあり、比較的近い地域である兵庫の市を選ぶことでいつでも足が運べるのではと思ったからです。

体	験	内	容
---	---	---	---

- ・ 原始人会での活動（雑草刈り、原始人会の夏のイベント「土一七日屋台」お手伝い）
- ・ 北条鉄道枕木交換
- ・ 薪作り体験
- ・ 北条鉄道長駅でのイベント「夕涼み会」お手伝い
- ・ 宇仁の朝市お手伝い



日付	体験内容		宿泊場所
	午前	午後	
8月19日	加西市到着	エコ教室・オリエンテーション・歓迎会	玉置室長宅
8月20日	コミュニティーバス乗車 大豆畑の雑草刈り	大豆畑の雑草刈 原始人会説明会	原始人会交流館
8月21日	田んぼの稗ひき 木工教室建設資材の選定	甘酒仕込み 猪肉スライス・BBQ	原始人会交流館
8月22日	土一七日屋台手伝い	夕涼み会ミーティング・ピラ配り	原始人会交流館
8月23日	土一七日屋台手伝い	土一七日屋台手伝い	原始人会交流館
8月24日	夕涼み会ミーティング・駅清掃 ふく蔵見学	市長面談 玉丘古墳散策	いこいの村はりま 職員寮
8月25日	北条鉄道枕木交換・車内清掃 自然公園散策	鶉野飛行場 旧市街散策	いこいの村はりま 職員寮
8月26日	ホテルスタッフ体験	ホテルスタッフ体験	いこいの村はりま 職員寮
8月27日	ホテルスタッフ体験	ホテルスタッフ体験 ランドマークタワー散策	いこいの村はりま 職員寮
8月28日	薪作り体験	丸山公園散策 長駅夕涼み会手伝い	いこいの村はりま 職員寮
8月29日	市内散策 (五百羅漢・法華山一条寺)	市内散策 (フラワーセンターぶどう狩り)	山本宮司氏宅
8月30日	宇仁の朝市手伝い	休養	山本宮司氏宅
8月31日	レポート作成	レポート作成	オークタウン加西
9月1日	報告会	打ち上げ	オークタウン加西
9月2日	解散		

活	動	紹	介
---	---	---	---

原始人会での活動（農業体験・土一七日屋台）

インターン二日目からの四日間、原始人会とゆう加西市万願寺地区の活性化を目的に地元の有志で結成された団体にお世話になった。そこではまず農業体験をした。私たちは作業服と麦わら帽子を身につけ、大豆畑の雑草を刈る作業を行った。だんだんと鎌の扱いに慣れ、夢中で無言でもくもくと皆で作業に取り掛かった。作業後に雑草のない大豆畑を見渡すととても清々しかった。

原始人会が毎月土曜日、日曜日、一七日と行っているイベント「土一七日屋台」のお手伝いをした。地元と都市部の交流と年代を越えた人の交流を通じ「万願寺」を広く世間にPRするという原始人会の目的を担う重要なイベントである。土日とお手伝いをしたが、両日ともお客さんが多く盛況していた。そして、笑顔で田舎の雰囲気を楽しんでいる様子が印象的であった。



北条鉄道枕木交換

旧国鉄であり、現在は加西市や兵庫県などが出資する第三セクター方式の鉄道会社、北条鉄道にて枕木交換を行った。朝早くからお昼までかけて、五人で一本しか変えることが出来なかった。枕木交換後は、駅員さんとお話をしながら車内清掃を行い、ローカル線ならではのお客さん目線で温かい雰囲気を持つ北条鉄道の魅力を感じた。

薪作り体験

すでに割られた薪を6kgずつにワイヤーでくくっていくという薪作りの作業をした。地味ではあるが、パズルのようで面白い作業であり、良い雰囲気で行うことが出来た。薪の需要も高いようで、とても良いエコの取り組みであることが理解出来た。



長駅の夕涼み会

長駅にて近所の子どもたちを楽しむ夕涼み会というイベントのお手伝いをした。私たちは紙芝居やゲームを企画し、歌まで歌わせて頂きイベントを盛り上げた。可愛らしい小さなお客さんが想像以上に集まり、子どもの無邪気な笑顔が地域に元気を与えている光景を目の前に、地域づくりに子どもは欠かせない存在であると感じた。



宇仁の朝市手伝い

朝早くから地元の野菜を売る朝市のお手伝いをした。どの野菜も採れたてで安く買えることもあり、朝市の開始時間よりも前に多くのお客さんが訪れていた。宇仁のまちづくりの方々の努力が手作りのレジ一つとっても感じられ、またその努力から広がる地域の人々の交流の輪を感じ、朝からとても爽やかな気分になった。

体 験 の 成 果

行く前まで、加西市は私の市よりも少し田舎というイメージであったが、実際行ってみると、そのイメージよりも田舎だった。確かに駅前辺りは私の市とさほど変わらない。しかし、そこから車で10分20分走ると、もう山や林の中。その土地柄が面白いと感じた。

たくさん参加させて頂いた活動の中でも特に原始人会の活動と長駅の夕涼み会が印象深

く、こんな山奥でこんなにユニークな考えを持ったおっちゃん達が地域おこしに取り組んでいるのだ、またこんな無人駅でもたくさん子どもたちを集めてこんなに楽しいイベントが出来るのだということにとっても感動した。また、これらを主催されていた方々はいつも目をキラキラさせ地域を元気にしたいという熱い思いを持ち、とても素敵で、こういう人々の小さな活動から地域は少しずつ元気になっているのだということを感じた。

地 域 へ の 提 案

今回様々な活動を通して感じたことは、地域がとても元気なことである。しかし、保守的な市民も多く、地域づくりにおいても意識の差が見られ、それに加えて市を十分に観光していない市民も多く見られた。そこで、加西をより元気にするための提案を以下にまとめる。

地域づくりの横のつながりをつくる

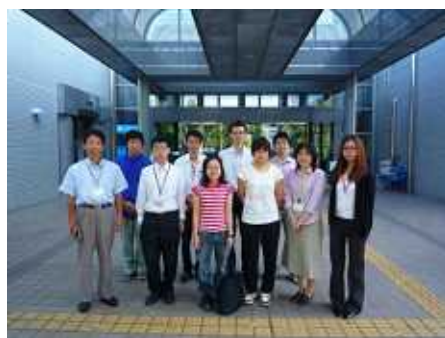
加西市の地域活性化において、地区ごとの地域づくりは活発であるが、地区同士での接点がないのが問題点なのではないだろうか。加西市は広大であるので、地区ごとに分かれてイベントを行うのは当然である。しかし、地域づくりの団体同士が交流出来る場を持ち、そのアイデアやイベントの情報を交換し合うという場が一つあるだけで、全ての地区の地域づくりが活気付き、また「加西市」全体としてより地域づくりが盛り上がるのではないだろうか。

おもてなし力を上げる

たくさんの観光スポットが加西にはある。しかし、一つのスポットのだけを目当てに加西市に訪れる観光客がほとんどである。また、インターン中に法華山で道に迷っている方と出会ったことや、参加させて頂いたイベントでは内輪的な雰囲気を持つものも少なくなかった。これでは観光に来た人々も足を運ばなくなってしまうのではないだろうか。そこで、加西市は「おもてなし力」を上げることが必要とされているのではないかと感じた。これは地域づくりの団体の人々を始めとする市民の意識から改善出来るものであろう。また、鉄道においては挨拶を徹底することや、市のボランティアガイドにより力を入れることもしていくべきである。それに加えて一つのスポットに訪れた人に加西市の他の良いところもアピールしてみてもどうだろうか。例えば、駅の近くに駅周辺の観光スポットやグルメを取り上げたパンフレットを置き、北条鉄道を目当てに来た人々に加西のグルメをアピールすることや、また北条鉄道と旧市街を結びつけ若者に人気な町家やレトロ鉄道のイメージを打ち出すことが出来るのではないだろうか。そういった小さな意識の積み重ねが加西市の地域活性化において必要であらう。

お わ り に

日本国内でこんなにも濃くアドベンチャーな二週間を送れるとは思ってもみませんでした。お世話になったたくさんの方々との出会いを通して、本当に充実した夏休みを過ごすことが出来ました。ありがとうございました。ガラス張りの部屋に蚊帳を張って寝泊まりするの



も、猪や鹿が出てこないかワクワクしたり、まむしを食べたりしたことも、たくさんの子どもの笑顔と出会えたことも、たくさんのおいしいご飯そして毎日のようにぶどうを頂けたことも、全て全てに感謝しています。そして、これからも加西市に足を運ぼうと思います。

兵庫県 加西市

加西市の伝説の人

派遣期間： 8月19日～9月2日
体験調査員： 中央大学法学部法律学科3年 片平 枝里



根日女

【 参加動機 】

私が地域づくりインターンに参加したのは、地域ネットワークの重要性を感じていたからだ。昨年、貧困と人身取引について学ぶために訪れたタイの農村で、地域ネットワークを確立することで如何に人身取引を防ぐことができ、貧困の対策をとることができるか学んだ。現在、東京に住んでいる私自身、隣人の職業や名前、さらには顔すら知らない状況にある。これは私に限ったことでなく、都市圏に住んでいる人々の多数が当てはまることであり、そんな状況の中、凶悪な犯罪が増えている日本において必要なのは地域の繋がりではないかと考え、地域の活性化を目的とする地域づくりインターンに参加した。

また、活動内容や関係する団体の名前のインパクトが加西市を選んだ主な理由である。街づくり団体である原始人会のネームインパクトや、ローカル鉄道の枕木交換という日常生活では絶対にできない体験内容に惹かれて加西市を選択した。

【 加西市の概要 】



人口： 48,814 (男性 23,735 女性 25,078)

面積： 150.19 平方キロメートル

気候： 瀬戸内海式気候

産業： 稲作を中心とした農業
(ぶどう、大根、トマト、いちご)

金属製品製造業を中心とした工業

加西市は兵庫県のほぼ中央に位置する小規模都市で、姫路市や加古川市に隣接している。緑豊かな環境で、ショッピングモールや飲食店が多数存在する便利な市街地から、車で10分ほど移動しただけで一面に田んぼと山しかない場所に行くことができる。市独自の川を持っていないため、ため池が多く点在する。また伝説となっている根日女の眠る玉丘古墳をはじめ古墳も多々存在し、ため池と同じくらいの確立で遭遇できる。

日付・宿泊先	体験内容
8月19日(水) 玉置室長宅	午後 エコ教室 夜 歓迎会
20日(木) 原始人会交流館	午前 コミュニティバス試乗、農業体験 午後 農業体験
21日(金) 原始人会交流館	午前 農業体験 午後 農家レストラン準備(猪肉スライス) 夜 バーベキュー
22日(土) 原始人会交流館	午前 土十七日屋台(農家レストラン)手伝い 午後 北条鉄道・長駅掃除、夕涼み会準備
23日(日) 原始人会交流館	午前 午後 土十七日屋台手伝い
24日(月) いこいの村播磨	午前 長駅草刈、福蔵(酒蔵)訪問 午後 市長面談
25日(火) いこいの村播磨	午前 枕木交換、鉄道見学 午後 市内散策
26日(水) いこいの村播磨	午前 午後 ホテルスタッフ体験(いこいの村播)
27日(木) いこいの村播磨	午前 午後 ホテルスタッフ体験(いこいの村播)
28日(金) いこいの村播磨	午前 薪作り、市内散策 午後 夕涼み会
29日(土) 八王子神社、山本宮司宅	午前 市内散策 午後 ぶどう狩り、朝市準備
30日(日) 八王子神社、山本宮司宅	午前 巫女さん体験、朝市手伝い 午後 市内散策
31日(月) オークタウン加西	午前 午後 報告会準備
9月1日(火) オークタウン加西	午前 報告会 午後 自由時間

【 体験内容 】

- ・ 農業体験
- ・ ホテルスタッフ体験
- ・ 枕木交換、鉄道見学
- ・ 夕涼み会参加
- ・ 朝市参加
- ・ 市内散策



【 活動紹介 】

市内散策では地元の子どもたちに五百羅漢を案内してもらい、ボランティアガイドさんに旧市街を説明していただいた。子どもたちの案内はとて和み、ボランティアガイドさんの説明は面白く、楽しく加西市の歴史を巡ることができた。



最初にお世話になった原始人会では農業体験や、自作の野菜や猪肉を使った農家レストランのお手伝いをした。農業体験での慣れない草刈や農業を支える家族の方々を通して、農業を続けることの大変さを感じた。



農家レストランでは猪肉と珍食材を使い、遠くから来たお客さんをもてなすことができ楽しかった。



いこいの村はりまではホテルスタッフ体験をした。地域の方々が忘年会などで利用するというような、地域に根付いたホテルであった。その反面外部からの客が少なく、接客が甘いという問題点も目に付き、田舎の良い点、悪い、両方を感じることができた。



北条鉄道では枕木交換という貴重な体験をした。予想以上の重労働で、5人で1時間かけて1本しか交換できず、自分のひ弱さを痛感した。



また長駅の夕涼み会にて地域の人と交流することができた。子どもたちが元気で素直でとてもかわいかった。紙芝居や歌などの出し物も盛り上がり、楽しいひとときがすごせた。





朝市に参加して、地域の人々と交流する機会もあった。朝市の会場が温泉であったこともあり、お客さんが予想以上に来た。地元の新鮮な野菜や果物を安く手に入れることができるので、心底うらやましいと思った。



またエコ教室でBDF事業について学び、まき作りを体験することで、加西市が行っている環境事業につ

加西市の特産品であるぶどうを狩りにいき、お世話になった八王子神社では憧れの巫女体験をさせて頂き、肉体労働以外でもかなり楽しませてもらった。



【 地域への提案 】

加西市に2週間滞在して、加西市には原始人会の行う農家レストランや五百羅漢、国宝である法華山一乗寺などたくさんの面白い見所があると感じた。しかし見所はたくさんあるが、それぞれの場所が離れていて、さらに車社会の加西市ではバスなどの公共交通手段による移動が不便であり、観光するのがかなり面倒くさい。これらの問題点を改善するために私はまず **観光地や地域づくり団体の結束を高める**ことを提案する。観光シーズンに限り市内観光用バスなどを共同で運営するなど、各団体がもっと協力するべきだと思う。個々の団体の頑張りだけでは限界がある。

また2週間かかわりつづけた方々は地域づくりに積極的で面白い方ばかりだったが、その反面、保守的な考えを持ち地域づくりに反対する人々や、地域づくりに興味を持たず、加西市で育ったが五百羅漢などの観光地に行ったことすらない人々もいた。地域づくりというのは地域に住んでいる人全員で行ってこそ効果があがるものである。住人がその地域について興味を持ち、よく知るようになるために、**小学校や中学校の教育で地域学習を増やす**べきだと思う。遠足で観光地に行ったり、地域清掃で北条鉄道の草刈を児童がするようにしたら、もっと地元へ愛着をもてるはずだ。

【 体験の成果・感想 】

約2週間の加西市でのインターンで最も感じたものは人と人との繋がりであった。参加動機が地域の繋がりを感じたかったので、地域を盛り上げるために頑張っている団体さんや、地域の人々と触れ合えたのは本当に良かった。そんな加西市でも異なる団体同士となると繋がりが希薄であり、その繋がりを深めることで解決できる問題は多い。

人と人との繋がりが大切であると実感できたこのインターンで出会えた加西市の方々や、相方の笠松さんとは、これっきりでなくこれからも長くつきあっていきたい。

